一般質問　児玉悦朗議員（清風会）

本市の医療体制について

問 病床数や医師や看護師の適正な人数に対して、現状の人数はどれほどの差があるのか。

答 市内3病院の診療科は、法律で定める医師と看護師の必要数が確保されていますが、かづの厚生病院は開院時に必要とされた常勤医25人に対し、現在は研修医1人を含む19人という現状にあります。

問 かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

答 平成29年度の赤字額は約3億8900万円となっております。患者数や医師数を踏まえ、赤字縮小に努めているようですが、収益に大きく影響を及ぼす医師確保が計画通りに進まず、根本的な解消には至っていないと伺っております。市の支援は平成27年度4706万円、28年度5004万円、29年度4963万円となっております。

問 地域医療体制の充実のためどのような施策を構築していくのか伺う。

答 中核病院であるかづの厚生病院の機能の充実については、救急・小児医療の運営支援や非常勤医の確保支援に加え、岩手医科大学に平成22年度から寄附講座を設置していることで、常勤医・非常勤医の派遣に大きな効果を上げており、今後も継続してまいります。

空き校舎の有効活用について

問 空き校舎の活用の計画について伺う。

答 再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

本市施策の情報発信方法としてのSNSの活用について

問 本市のSNS発信状況について伺う。

答 平成23年度に開設したフェイスブックの「鹿角いいね！」を皮切りに、「ユーチューブ」や「インスタグラム」にも公式アカウントを開設し、SNSを活用した積極的な魅力発信に努めております。

児玉　悦朗 議員

（清風会）

質問した項目

■鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について■本市の医療体制について■空き校舎の有効活用について■大湯環状列石周辺の発掘調査計画について■指定管理者制度について■本市施策の情報発信方法としてのSNSの活用について■ブランド作物栽培面積増加策について■耕作放棄地対策について

一般質問　吉村アイ議員（無会派）

吉村　アイ 議員

（無会派）

質問した項目

■世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について
■産業遺産である史跡尾去沢鉱山の観光拠点としての取り組みの強化について
■鹿角市の全国的な認知度向上について

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

問 7月に推薦候補に選定されたということは、いずれ選定されることが予測される。今後の取り組みの強化についてどのように考えているか伺う。

答 今年度推薦候補に選定されたことから、来年度においても有力な候補であることに変わりないと考えており、2021年度の世界遺産登録に向けて粘り強く取り組みを進めたいと考えております。

遺跡の見学環境の整備や情報発信の充実など登録を目指した取り組みを継続するとともに、市民から関心を持って応援いただけるよう機運の醸成に努めます。

問 世界遺産登録後、観光客が倍増すると予測されるため、現状のガイドの体制では不安だとの声があるが、その対策について伺う。また、ボランティアガイドの方の負担に対し、交通費を支給する考えはないか伺う。

答 ボランティアガイドの会員の減少や高齢化等の状況を踏まえると、受け入れ態勢の整備が必要であることから、今年度からガイドの育成に取り組んでおります。

また、態勢整備に当たって、ガイドを提供する時間帯や人員配置など活動全体について検討を要するため、交通費の負担のあり方も協議したいと考えております。

産業遺産である史跡尾去沢鉱山の観光拠点としての取り組みの強化について

問 以前は運行していた鉱山行きのバス運行を土、日、祝日だけでも復活できないか伺う。

答 運行の復活は難しいですが、鹿角観光フアン制度のタクシー割引券についてPRしてまいります。

鹿角市の全国的な認知度向上について

問 目標順位520位達成のために、今後計画している取り組みについて伺う。

答 目標達成に向け、市の魅力の発信と地域資源の磨き上げを強化しております。本年度は映画「デイアンドナイト」の先行上映やロケ地巡りツアーなどを展開してまいります。